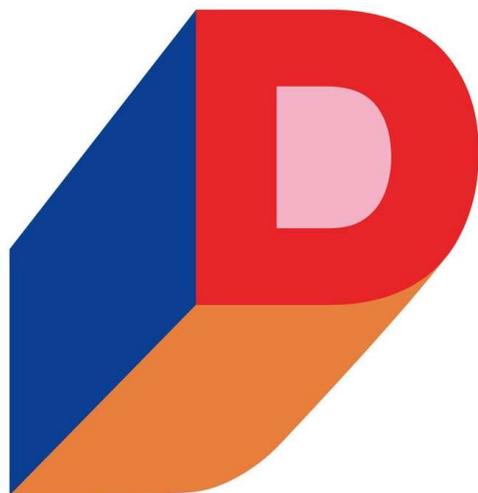


アントレプレナーシップ教育の 新しいカタチを創り出す



CENTER

名古屋大学
ディープテック・シリアルイノベーションセンター



■Dセンターとは

名古屋大学の学生向けにアントレプレナーシップ教育を提供するための研究教育拠点として、2023年に開設された。全学部の1年生(約2,200人)を対象にしたアントレプレナーシップ教育を必修科目として提供。また、起業のための技術支援やコワーキングスペースの提供など、様々な起業支援を行う。

- ◆イノベーション起業教育部門・・・学生へのアントレプレナーシップ教育を担当
- ◆イノベーション創出支援部門・・・技術支援等のディープテックベンチャー起業支援を担当

■Dセンターのミッション

- ①新しいアントレプレナーシップ教育を提案すること
- ②幅広い対象にアントレプレナーシップ教育を提供すること
- ③アントレプレナーが活動を実践できる場を企画・運営すること

■Dセンターのアントレプレナーシップ教育

従来のアントレプレナーシップ教育では、既に起業態度(起業意識)が高い学生を対象に、起業家育成へ焦点をあてて実施していた。これに対してDセンターでは、「急激な社会変化を受容し、新たな価値を生み出していく精神と行動力」をアントレプレナーシップと捉え、起業態度が低い学生も含めて全学生にアントレプレナーシップ教育を提供し、新しい時代をリードする人材を育てていく。



「勇気ある知識人」を育てあげる



名古屋大学
ディープテック・シリアルイノベーションセンター
センター長 宇治原 徹

ディープテック・シリアルイノベーションセンターは、大学の持つ深い知見を駆使することによって、教育と研究を刷新する連続的な知的循環を創造します。

世界が、そして社会が、急速に変化しています。AIをはじめとする技術革新、緊張する国際関係、そして国内では少子高齢化に伴う産業構造の変化。これまでの常識が全く通用しない、不確実性の高い時代を、私たちは生きざるを得ません。

大学は変わらなくてよいのでしょうか。大きな変化に対応できているのでしょうか。

これまで名古屋大学は、自由闊達な学風の下、論理的な思考力と想像力に富んだ勇気ある知識人を育てることを目指してきました。

そうした知の遺産を活かして、より急激な社会変化を受容し、新たな価値を生み出していく精神と行動力を持った人を育てる必要があります。私たちは、そうした人々を、アントレプレナーと呼びます。

私たちは、大学の知的循環の中から数多くのアントレプレナーを輩出し、新たな価値が次々と溢れ出す世界を創出していきたい。

高いポテンシャルを持つ名古屋大学の学生や研究者が自分らしく興味関心を育み、教育や研究によって伸ばした専門性を互いに切磋琢磨する。そうした相互作用の渦中からイノベーションが連続的に生成されていくはずです。

ディープテック・シリアルイノベーションセンターの挑戦に、ご期待ください。

■Dセンターが提供する授業科目（2025年7月現在）

学部1年	必修科目	「大学での学び」基礎論	名古屋大学新入生向けのポータル科目で、全学部の約2,100人が受講する。名大の歴史、ICT活用、留学などの大学生活全般を扱う。全9回のうちDセンターが1回分でアントレプレナーシップ教育を担当。2023年度から開講している。
		アントレプレナーシップ初歩	名古屋大学新入生向けのアントレプレナーシップ教育。全学部の約2,100人が受講する。全8回で、企業事例を中心に、アントレプレナーシップに対する興味・関心の育成と基礎知識を醸成する。2024年度に試行講義を実施し、2025年度から正規科目としてスタート。
学部2年	選択科目	社会問題解決とアントレプレナーシップ	社会課題に焦点を当て、具体的なケースを取り上げながら、学際的かつグローバルに考察する。その上で、アントレプレナーシップによる行動が、どのように新価値を創造し、社会貢献に結び付くのか、分析を通じて学ぶ。
		イノベーション基礎	社会がイノベーションによってどのように変わってきたかを理解し、自分の専門分野の知識やテクノロジーをどう活かして、どのように社会に影響を与えるかを検討する。これにより、未来の社会について深く考察する力を身につける。
		シリアル・イノベーション	社会の大きな変容は、イノベーションが連続的に重なり合うことで生じてきた。こうしたイノベーションの前提となる課題発見と解決のための様々な方法を紹介する。その後、グループワークや議論を行うことで手法を理解・体験する。
学部3・4年	選択科目	超学部セミナー 人生の中での起業論	起業に求められる知識や能力の人生及び社会的な意味を考察した上で、大企業に勤めた場合、起業した場合、ベンチャー企業に就職した場合のそれぞれにおいて、役に立つ起業(事業創造)においてどういうことをしていくのかを学習する。
		超学部セミナー イノベーションに携わるキャリア選択の可能性	イノベーションの最前線で活躍する専門家による講義と交流を通じて、学生が「起業」「新規事業開発」等のキャリアパスについて具体的・現実的な理解を深めることを目指す。さらに自身の適性や興味を見直し、キャリア選択の視野を広げる機会を提供。
大学院	選択科目	ベンチャービジネス特論 I&II	大学の研究成果をベースにした技術開発・事業化、企業内起業やベンチャー起業の実例を示し、研究を生かしたベンチャービジネスを考える。また、経営学等の企業経営に必要な知識の習得を目指す。
		最先端理工学実験	最先端理工学特論
G30		超学部セミナー「Diversity & Innovation: Entrepreneurship in a Global Age」	異なる文化的背景を持つ学生同士の協働を通じて、創造的思考、課題解決力、行動力を実践的に学び、地域や国際社会の課題に向き合う力を養う

その他	原宿大学	原宿を中心としたTOPクリエイター陣からカルチャーを学び、名大の中に、既存の常識にとらわれないPOPなカルチャーを生み出す東京・原宿のような場を作る。
	Dサロン	なごのキャンパスにおいて外部向けセミナーを開催。2024年6月に第1回を開催し、2025年6月現在で5回開催している。
	インターン	東海地区企業やスタートアップへの学生インターンシップ制度を構築。2027年度に受入先100社以上を目指す。
	海外連携	シンガポール国立大学へ半年間の留学。現地のスタートアップ企業で有給インターンシップを実施。毎年10名派遣予定。またアントレ初歩やイノベ基礎の授業英語化により、留学生にも対応している。
	地域連携	高大接続事業などを通じて、学部や分野を横断した授業を提供。

■Dセンターの起業支援

学内発スタートアップへの技術支援	イノベーションサロン(コワーキングスペース)の構築
オープンラボ型事業支援	他大学との連携、メンターチーム構築 など

■Dセンター スタッフ紹介



教育部門
教授
岸田 英夫



教育部門
特任准教授(兼任)
森 典華



支援部門
教授
大野 雄高



教育部門
特任教授
河野 憲嗣



支援部門
助教
鄭 恵貞



支援部門
特任教授
光井 將一



教育部門
特任教授(兼任)
今泉 寛



教育部門
研究員
山本 有里



支援部門
准教授
出来 真斗



教育部門
特任准教授
新村 和太



教育部門
特任准教授
松本 修平

[客員スタッフ]

◇教育部門 客員教授 柴山 政明

◇教育部門 客員教授 浅野 弘揮

◇教育部門 客員教授 丸 幸弘

◇教育部門 客員教授 松野 茂樹

◇教育部門 客員教授 後藤 吉正

◇教育部門 客員准教授 神藤 拓実

◇教育部門 客員教授 伊藤 正也

◇教育部門 客員准教授 金澤 祐子

2025.7.14現在

東海国立大学機構 名古屋大学 ディープテック・シリアルイノベーションセンター

名古屋市千種区不老町 ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー3階

d-center@g.thers.ac.jp



Dセンター公式LINE



名大生用



一般用